

2020 年度塑性加工春季講演会 講演募集

開催日：2020年6月12日(金)～6月14日(日)
 会場：名古屋工業大学 [〒466-8555 愛知県名古屋市昭和区御器所町]
 テーマセッション講演申込締切：2020年2月5日(水)
 一般講演申込締切：2020年2月12日(水)
 講演論文集原稿締切：2020年4月15日(水) 14時まで

共催：日本機械学会, 日本塑性加工学会 (幹事学会)
 協賛：軽金属学会, 高分子学会, 精密工学会, 日本金属学会, 日本トライボロジー学会, 日本材料学会, 日本複合材料学会, 日本レオロジー学会, 日本銅学会, 日本鉄鋼協会, プラスチック成形加工学会, 溶接学会, 型技術協会, 日本合成樹脂技術協会, 粉体粉末冶金協会, 日本鍛圧工業会
 後援：日刊工業新聞社

●講演申込方法

学会のホームページ (<http://www.jstp.or.jp>) の【講演申込みのページ】より申し込んでください。

- 講演申込には、会員番号・パスワードが必要です。
 - 会員番号・パスワード発行までにお時間がかかりますので、入会申込みは1月29日(水)までをお願いします。また、共催学協会会員には今回限り有効な会員番号とパスワードを発行します。
- ホームページでの申込みが困難な方は、学会事務局まで電話(03-3435-8301)でお問合せください。

●講演申込上の注意

- 未発表かつオリジナルな内容に限りします。
- 講演者は講演申込時に共催学協会の個人会員に限りします。連名者の資格はその限りではなく、連名者数(除く講演者)は6名までとします。
- 講演申込締切後の講演取消はできません。また、講演申込締切後の題目、講演者、連名者の変更はできません。
- 講演論文集の原稿の著作権は日本塑性加工学会に譲渡していただきます。なお、著作者自身による原稿利用の権利は留保いたします。
- 講演分類は右記の表より1つずつ選んだ組合せで表示します。
- 講演申込み後、受付確認メールを返信します。1時間以内に受付確認メールが届かない場合は申込が登録されていない可能性があるため早急に学会事務局まで電話でご連絡ください。

●原稿の提出

講演論文集の原稿枚数はA4用紙2枚です。原稿はPDFで提出していただきます。原稿の執筆方法はホームページをご参照ください。

講演プログラムと連動して原稿の一部等を公開するサービスを実施しています。原稿提出時に、①公開しない、②原稿の最初1/4頁を公開、③原稿内の図表の1つを選択して公開、④400字以内の文章を別途公開、の4つのパターンから1つを選択していただきます。これらの内容は学会ホームページに掲載される講演会プログラムにリンクして表示されます。

公開日は2020年4月30日(木)です。この公開により原稿の記載内容は公知となります。原稿内容について特許申請等をお考えの方はご承知おきください。

●特別原稿編集作業費

講演論文集原稿締切後に原稿を提出された方および原稿を再投稿された方には、特別原稿編集作業費20,000円を請求いたします。

また、4月22日(水)14時までに原稿が入手できなかった講演は取消とさせていただきます。更に20,000円を請求いたします。

4月15日(水)14時以降～4月22日(水)14時まで	20,000円
4月22日(水)14時以降	講演取消および20,000円

●参加登録

講演会に参加する方(講演者、連名者、聴講者)は参加登録が必要です。早期割引参加登録手続きは4月下旬にホームページにて公開予定です。

●優秀論文講演奨励賞の申込

35歳以下の若手発表者による優秀な講演発表に対して、優秀論文講演奨励賞を贈ります。35歳以下の会員で審査を希望される方は、講演申込時に優秀論文講演奨励賞の審査の希望を選択して、年齢も必ず選択してください。申請がない場合は、審査対象外とさせていただきます。なお、過去に本賞の受賞歴のある方の応募は、2年を超え、かつ講演会4回分が欠格期間となります。

表1 素材形態別分類

表2 加工法別分類

素材形態	加工法	
板 材 A	圧延	a
	鍛造	b
	転造	c
	押出し	d
	引抜き	e
	ロール成形	f
	チューブフォーミング	g
	スピニング	h
	せん断	i
	曲げ	j
塊状物 B (線・棒・形材等)	板材成形	k
	矯正	l
管 材 C	高エネルギー・高速加工	m
	接合	n
	積層造形	o
不定形材 D (粉末・溶湯・木材等)	粉末成形	p
	射出成形	q
	半溶融・半凝固・溶湯	r
	インクリメンタルフォーミング	s
	サーボ応用加工	t
	マイクロフォーミング	u
	超音波応用加工	v
	ドライ加工	w
	温・熱間プレス成形	x
	表面改質	y
その他	z	

表3 要素技術別分類

材料試験	1	
塑性理論	2	
解析技術	基礎理論, 解析モデル	3
	数値シミュレーション	4
	実験シミュレーション	5
材 料	鉄鋼材料	6
	非鉄金属材料	7
	複合材料・CFRP	8
	超塑性材料	9
	プラスチック	10
	粉末材料	11
	セラミック	12
	ポーラス	13
	木材	14
	新素材・その他	15
加工特性	変形特性・負荷特性	16
	加工限界	17
	加工精度	18
	材質改善	19
	その他	20
工具, 金型	金型設計, CAD/CAM	21
	工具材料, 表面処理	22
	その他	23
加工・生産システム	計測, 制御	24
	加工機械, 生産システム	25
	知能化技術(AI, エキスパート)	26
	その他	27
トライボロジー	28	
環境・省エネルギー	29	
その他	30	

2020年度塑性加工春季講演会 「テーマセッション」のご案内

2020年度塑性加工春季講演会(2020年6月12日(金)～14日(日),名古屋市,名古屋工業大学)において,下記の5件のテーマセッションを開催いたします。奮ってご応募下さい。ご不明の点につきましては,各セッションのオーガナイザーまでお問合せください。

テーマセッションの特徴は以下の通りです。

- (1) 一般講演とは区別してプログラムを組みます。
- (2) 特定のテーマに関する講演を広く公募します。
- (3) 公募論文の取捨選択や討論時間などの運営方法はオーガナイザーに一任します。(採択されなかった場合には一般講演に回っていただきますのでご了承ください。)

記

申込方法 学会のホームページを利用したオンライン申込をご利用ください。

講演申込用ホームページアドレス 11月に掲載予定

申込締切日 2020年2月5日(水)

テーマセッション1「環境問題に貢献するプロセス・トライボロジーの最前線」

オーガナイザー:吉川泰晴(名城大学),浅井一仁(豊田工業高等専門学校),早川邦夫(静岡大学)

協力:プロセス・トライボロジー分科会〔主査:王 志剛〕

問合せ先:吉川泰晴(名城大学),E-mail:yyasu@meijo-u.ac.jp

地球規模での環境問題に対する早急な取組みが求められていますが,同時に経済的な面も注目されており,真に実効的な対策が必要とされています。このような状況下で塑性加工においても環境問題に対応するために新技術の開発が進められています。本テーマセッションでは,潤滑剤,加工技術,表面処理,摩擦試験法や摩擦理論などのプロセス・トライボロジーにおいて,上記の環境問題に貢献する先端技術と最新知見について議論します。

テーマセッション2「今こそ期待されるチューブフォーミング」

オーガナイザー:水村正昭(日鉄テクノロジー(株)),白寄篤(宇都宮大学),内海能重(埼玉大学)

協力:チューブフォーミング分科会〔主査:久保木 孝〕

問合せ先:水村正昭(日鉄テクノロジー(株)),E-mail:mizumura.4hb.masaaki@jp.nipponsteel.com

輸送機器の軽量化,人的・自然災害に対する安全性向上,医療機器等の微細部品の加工,等々,塑性加工のますますの高難度化,高機能化が叫ばれています。その中で,管材部品は中空・閉断面故に単位重量当たりの剛性や強度を高めることが可能である一方,二次加工では内部からの拘束が難しいという側面があります。そのような背景の下,今こそチューブフォーミングが期待されています。本テーマセッションではチューブフォーミングの現状から今後の発展まで総合的に議論したいと思っております。

テーマセッション3 「半溶融・半凝固加工，溶融加工の最新動向」

オーガナイザー：羽賀俊雄（大阪工業大学），西田進一（群馬大学），渡利久規（東京電機大学）

協力：半溶融・半凝固加工分科会〔主査：羽賀 俊雄〕

問合せ先：羽賀俊雄（大阪工業大学），E-mail：toshio.haga@oit.ac.jp

半溶融・半凝固加工および溶融加工は，製品を作製する単体の加工プロセスとして発展を続けている。また，塑性加工用のプリフォーム作製プロセスとしても使用されている。使用する材料も鋳造用合金の他に展伸用の合金の一部も使用できるようになってきた。リサイクルや省工程・省エネプロセスの観点からも注目されている。狭義の半溶融・半凝固加工や溶融加工に制限せず，プロセスからの視点，材料からの視点，他の加工方法との融合の視点から半溶融・半凝固加工，溶融加工の最新動向について広く講演を募集します。

テーマセッション4 「板材・バルク材シミュレーションの高精度化に資する、材料や環境条件のモデリング技術」

オーガナイザー：浜孝之（京都大学），吉田佳典（岐阜大学），杉友宣彦（㈱JSOL）

協力：プロセッシング計算力学分科会〔主査：小森和武〕

問合せ先：杉友宣彦（㈱JSOL），E-mail：sugitomo.nobuhiko@jsol.co.jp

材料の高強度化や加工条件の複雑化等により，塑性加工シミュレーションの高精度化ニーズが高まっている。よって本セッションでは，材料モデリングや材料周辺の境界条件など，板金プレス加工やバルク加工におけるシミュレーション高度化に資するモデリング技術とその適応事例について，広く講演を集め，今後の研究指針となるセッションとしたい。

「優秀論文講演奨励賞」について

講演会運営委員会では，塑性加工講演会の活性化と優秀な若手会員の活躍を期待して，新進の研究者・技術者の優秀な論文講演を表彰しております。本賞審査の対象となる方は，講演発表時に満 35 才以下の会員です。35 歳以下の講演者で審査を希望される方は，申込時に希望の有無および年齢を選択してください。受賞件数は分野を偏らないように配慮して，10 件程度とします。ただし，過去に本賞の受賞歴のある方の応募は，2 年を超え，かつ講演会 4 回分が欠格期間となります。審査は座長を含む審査委員による論文内容，発表方法，質疑応答に基づいて，総合的に評価します。優秀論文講演奨励賞の受賞者名及び講演論文名等は，会報誌「ぷらすとす」にて公表するとともに，賞状と副賞を贈り顕彰します。